

事業目的

地域課題を解決するため、ボランティア・地縁系団体への期待は高まっている。一方で、中播磨・西播磨地域は人口減少や高齢化が顕著となり、地域運営の担い手が枯渇するなど、集落単位の維持・活性化活動が困難となりつつある。そこでこの事業は、伴走支援やセミナーを通じ、自立できる団体を目的として実施した。

事業概要

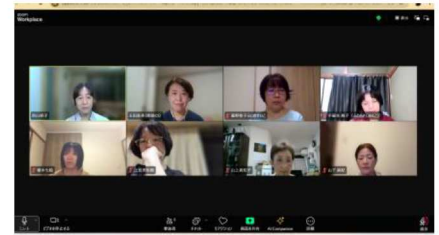
それぞれの団体に必要なアドバイスを行う**伴走支援**、**セミナー**ならびに**交流会**を開催。伴走支援は、定期的に相談日を設けず個別に対応した。セミナーは、市民活動に役立つ情報の提供や研修会を実施し、団体の事務力と組織力をアップさせるものを計画。交流会では孤立しがちなボランティア団体の横のつながりを深め、課題を共有し成長できるものにした。

事業内容

伴走支援

各団体のニーズに応じた個別相談と事務仕事のアドバイス

当初、個別相談は開催日を決めて実施する予定であったが、ニーズに応じて相談、アドバイスをする事とした。相談内容は、団体設立から規約の作り方、クラファン、情報発信の仕方など多岐にわたるが、共通する課題は「人材の確保」である。「人材」とはボランティアスタッフなどの運営側もあれば、参加者という場合もある。情報発信はターゲットに応じて変える必要があることと、参加者のメリットは何なのかを明確にすることなどのアドバイスを行った。参加者がボランティア、有給職員と発展するケースは珍しくなく、上雷の人材確保のためにも受け入れプログラムの作成は必要である。



オンライン相談の様子

セミナー

団体運営の継続のための人材育成セミナー開催



CANVA講座の様子

団体の継続のため、3つのセミナーを開催した。NPO運営講座で「**事業計画作成セミナー**」「**資金調達セミナー**」を実施（令和7年2月）。また、効率的な情報発信のための「**初心者のためのCANVA講座**」を開講した。特に、CANVA講座は、初心者でも簡単にチラシを作ることができるアプリとして昨今注目されており、募集開始後すぐに定員となった。追加で講座を開講したところ、延べ40名が受講した。一方で、事業計画や資金調達などのセミナーはなかなか集客が難しい。市民活動団体が、日々の活動に注力し、中長期での計画を作るという時間が取れないという課題があるのでは感じる。

交流会

団体同士の横のつながりで、活動の幅を広げる

団体同士の連携・協力をとり活動の幅を広げる交流の場として月1回の「**ソーシャルカフェ・バー**」の開催を試みた。漠然と実施するのではなく、毎回テーマを決めてターゲット層にアプローチしたが、告知不足もあり参加者がいない日が続いた。息の長い継続が必要であると感じている。西播磨地域での情報交流会は、西播磨文化会館で月に1度実施をした。こちらはすでにコミュニティが確立されており、毎回15名程度のシニア世代が参加。交流と情報交換が進んでいる。



CANVA講座の様子

事業の成果・今後の展望

今年度の事業は、市民活動団体の経済的自立を目指して、セミナーや伴走支援を実施してきた。市民活動団体の多くはシニア層が担っており、「稼ぐ」意志よりも「社会とつながる自分の心地よい居場所」をベースに社会貢献をしたいという人が多いことを改めて感じた。一方で、世代交代の必要性も実感しており、新たな人材の獲得が必要と思っている団体も多い。情報発信をし、自分たちの活動の参加者を増やすのは大切だが、団体内での受け入れ体制の整備や合意形成も必要である。外部発信だけではなく、団体のガバナンスの大切さも訴求したい。